企業・団体名（　株式会社飯塚工業　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・雇用や教育、昇進、福利厚生などあらゆる社内制度において、性別や年齢、人種、出身などによる差別がない体制を構築している。					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・就業規則にセクハラ、パワハラなどのハラスメントの禁止事項を記載。 ・ハラスメント防止相談窓口の設置。 女性担当者、男性担当者を配置し相談者が相談しやすい環境を整備。 ・ハラスメント防止ポスターの作成及び社内、現場への掲示。					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・勤怠管理システムによる勤務時間管理を徹底。 システムにより全社員の勤怠状況を素早く把握でき、自動集計により時間外等を管理。 ・ICTや最新機器を導入し長時間労働是正、生産性向上に取り組んでいる。								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・外国人労働者の採用（2014年～） 国籍不問の採用を行っており、現在4名の外国人労働者が現場で活躍している。 ・外国人技能実習生の受け入れ（2022年～） 前年度から、フィリピン人技能実習生6名の雇用を受け入れ開始。 業務はもちろん、日常生活においても差別や人権侵害がない平等な社内環境を整備し、日頃から差別がないことを確認している。				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・現場監督によるパトロールの実施。 ・女性社員で結成されたチーム「i-bonds」による安全衛生パトロールの実施。 ・全社員、協力会社が参加の安全大会を開催。			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・年1回のストレスチェックを実施。産業医へ相談できる体制が整っている。 ・相談窓口の設置。			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・県の「山梨えるみん」の認定を受けている（認定年度：R5年度） ・多様な人材が活躍できるよう、適正にあった職種や業務を整備。 ・定年の延長、定年後働き方に沿った再雇用制度あり。 ・女性の管理職実績あり。 ・現在の女性社員数15名（内 管理職1名、技術者3名、設計部2名）					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・県の「やまなし健康経営優良企業」の認定を受けている。（認定年度：R3年度） ・年1回の健康診断・婦人科健診の実施。(一部会社負担有) ・健診結果によっては医師による特定保健指導の実施。 ・健診の結果、要治療（再検査含む）となった対象者全員に医療機関への早期受診を働きかけている。 ・協会けんぽ山梨支部へ「健康宣言」を提出。 ・社内に体重計、血圧計など健康グッズを設置。 ・健康通信を定期的に発行し、健康に関わる情報を社員向けに発信することで社員の健康意識向上に取り組んでいる。 ・定期的に各現場へ健康に関するチラシを作成し、配布・掲示。 ・3大疾病保障保険への加入。(保険料全額会社負担) ・遠方現場には、健康を考えた宅配弁当等の紹介。			○					○									

9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・新入社員研修制度 未経験でも希望があればどんな職域にも挑戦できるよう、研修制度を導入。 入社後、外部研修に参加可能。費用は全額会社負担。 ・スキルアップのための資格取得を目指す社員には、費用を会社が援助。 経験年数や現場経験に応じた各種技能講習、実技講習、能力向上教育講習、その他必要に応じたスキルアップのための研修への参加を支援。未経験者や若手社員、中途社員など能力に関係なく、学びと成長を支援できる環境の整備に取り組んでいる。				○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済									○		○								
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・廃棄物に関して現場及び自社で適切に管理・分別を行っている。 ・エコキャップ運動に参加している。 ・電子化を進め紙廃棄物削減に努めている。											○	○		○				
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・自社、現場ごとに電気、燃料の使用量を把握し省エネを心がけている。							○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・環境対策型の機械や車両を購入、リースし排出ガス、温室効果ガス、騒音・振動による環境への影響を低減。							○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・法令等で規制されている有害性等の調査を実施（リスクアセスメント）し、その結果に基づいて検討した災害防止対策により、未然に労働災害を防止。 ・有害化学物質を把握、適切に使用する為の講習会への参加。 ・有害化学物質を含む材料の使用量を削減、材料変更に努めている。			○			○					○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・環境対策型の機械や車両を購入、リースし排出ガス、温室効果ガス、騒音・振動による環境への影響を低減。						○								○			
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・本社、現場ごとに水の使用量を把握し節水を心がけている。						○											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	・ISO14001を取得している。			○			○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境													○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境								○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境													○	○	○	○		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・チャレンジ産廃3R優良事業者の認定を受けている。 ・３R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進している。 ・社内用の書類に限り、裏紙を使用している。 ・古紙をオリジナルトイレットペーパーに再生する資源循環プロジェクトに参加するなど、再資源化の活動に取り組み、CO2の削減と森林保護について考えている。						○					○	○	○	○	○		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範の整備の為、外部の法令遵守研修会へ参加している。																○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・経営者層が公正取引に関する研修会に参加し、社員教育を行っている。 【予定】今後は社内コンプライアンス研修会などを開催し、さらに社員教育を徹底する。																○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・知的財産を侵害しないよう適切に事業活動を進めている。 【予定】今後、社内ルールを定め通達する。								○	○								

25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・個人情報保護法に基づき基本方針を定めHPにて公表している。 ・個人情報に関する書面は鍵付のキャビネットにて保管している。 ・データに関しては、管理ツールソフトを利用しパスワードを設定。 ・ウイルス対策ソフトを導入しており、十分なセキュリティ対策を講じるとともに万が一問題が発生した場合、速やかに対応できる環境にある。 【予定】今後、社内ルールを定め通達する。																	○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	・自社において紛争鉱物の取り扱いを行っていない。 ・取引先、下請業者、関係先において、紛争鉱物の取り扱いがないことを確認している。 ・将来にわたって、紛争鉱物は取り扱わないことを社内に周知している。																	○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会						○			○		○		○	○	○	○	○	○
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・ISO9001を取得しており、安全で質の高い技術とサービスを提供できる仕組みを構築している。			○									○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・ISO9001を取得しており、安全で質の高い技術とサービスを提供できる仕組みを構築している。 ・施主の声に耳を傾けるため建物引き渡し時にアンケートを実施している。 ・更なる信頼や安全性、顧客満足度の向上を目指し社内検査や現場パトロールに力を入れている。									○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境							○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・騒音や粉塵による地域への影響に最大限配慮している。 ・対策として低騒音型・低振動型建設機械を使用している。				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・清掃活動（毎週月曜日実施） ・小学生を対象に重機等の体験を行うボランティアへの参加。 ・樹木伐木活動等へのボランティア参加。 ・中学生を対象にコンクリート工事の体験などを行う学校キャラバンを行っている。 ・高校生のインターンの受け入れや現場見学会の定期的な開催をしている。 ・地域行事に参加しキッズブースを設け重機の試乗を行ってもらう活動をしている。				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済									○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・ 法令遵守（コンプライアンス遵守）の重要性を全従業員へ向け発信している。 【予定】今後の具体的な取り組みとして、社内コンプライアンス研修会を予定している。																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営理念、経営目標について、経営者が定期的に社員に伝えている。								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・法令順守のための体制、仕組みの整備が行われている。																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会																	○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済																	○	

40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会																		○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会																		○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済										○		○		○				○	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済									○	○									○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17